

平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年4月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の業績(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	595	△13.7	△63	—	△61	—	△43	—
24年11月期第1四半期	689	15.3	△8	—	△4	—	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	△15.30	—
24年11月期第1四半期	△7.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第1四半期	7,616	6,616	86.9	2,346.22
24年11月期	7,623	6,695	87.8	2,374.43

(参考) 自己資本 25年11月期第1四半期 6,616百万円 24年11月期 6,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,516	5.2	20	△41.7	21	△47.9	4	18.5	1.67
通期	2,986	6.5	42	—	44	—	11	—	3.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期1Q	3,339,995 株	24年11月期	3,339,995 株
25年11月期1Q	520,091 株	24年11月期	520,091 株
25年11月期1Q	2,819,904 株	24年11月期1Q	2,819,904 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)における日本経済は、長引く欧州の金融不安が依然続いていることや、中国をはじめとする新興国経済の減速などにより、先行きが懸念されております。

しかしながら、年末の新政権の誕生により、その経済対策への期待感から円安、株高に転じ、景気回復の期待が徐々に高まっております。

一方、当社の関連するアウトドア関連産業では、個人消費の持ち直しの動きが期待されるものの、一般的に依然厳しい市場環境が続いております。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく営業活動を行ってまいりましたが、一般的に販売が苦戦し、その結果当第1四半期の売上高は5億95百万円(前年同期比13.7%減)となりました。また、売上高の減少の一方、販売費及び一般管理費は減価償却費などが増加し、営業損失は63百万円(前年同期間 営業損失8百万円)、経常損失は61百万円(前年同期間 経常損失4百万円)となりました。なお、法人税等調整額△21百万円などの影響を受け、四半期純損失は43百万円(前年同期間 四半期純損失20百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、強い寒気の影響を受け例年になく記録的な降雪量となり、冬場の釣りに影響を受けることとなりました。フライ(毛鉤)用品の販売は新製品の投入により、比較的堅調に推移いたしました。ルアー用品の販売が苦戦し、その結果、フィッシング事業の売上高は1億88百万円(前年同期比27.4%減)となりました。また、セグメント損失(営業損失)は2百万円(前年同期間 セグメント利益44百万円)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、12月以降強い寒気により気温が低下いたしました。防寒衣料の動きが前年と比べ鈍化し、販売は低調に推移いたしました。その結果、アウトドア事業の売上高は4億4百万円(前年同期比5.4%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は5百万円(前年同期比71.6%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期累計期間に関しては、その他売上高は2百万円(前年同期比9.6%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は1百万円(前年同期比25.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ6百万円減少し76億16百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少1億76百万円や受取手形及び売掛金の減少89百万円の一方、季節的な影響による商品及び製品の増加2億35百万円や有価証券の投資有価証券からの振替えによる増加1億円などの影響により、前事業年度末に比べ99百万円増加し、42億55百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券1億円が短期の有価証券に振替えられたことなどにより、前事業年度末に比べ1億5百万円減少し、33億61百万円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ72百万円増加し10億円となりました。流動負債は、未払費用の減少28百万円などの一方で、支払手形及び買掛金が98百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ68百万円増加し、7億79百万円となりました。固定負債は、退職給付引当金が増加したことなどにより、前事業年度末に比べ4百万円増加し2億20百万円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ79百万円減少し、66億16百万円となりました。これは主に、四半期純損失43百万円の発生や、前事業年度決算の配当支出42百万円などによるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年1月18日発表の「平成24年11月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年12月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,481,239	1,304,638
受取手形及び売掛金	523,918	433,945
有価証券	1,114,010	1,214,212
商品及び製品	965,416	1,200,559
その他	72,954	103,034
貸倒引当金	△1,572	△1,302
流動資産合計	4,155,967	4,255,087
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	792,144	779,076
土地	2,011,097	2,011,097
その他（純額）	24,182	24,552
有形固定資産合計	2,827,424	2,814,726
無形固定資産	32,154	32,398
投資その他の資産	607,512	514,157
固定資産合計	3,467,091	3,361,282
資産合計	7,623,059	7,616,369
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	546,229	645,098
短期借入金	—	20,000
未払法人税等	19,549	6,333
返品調整引当金	19,523	9,129
賞与引当金	—	13,669
その他	125,738	85,632
流動負債合計	711,040	779,863
固定負債		
退職給付引当金	134,265	136,621
役員退職慰労引当金	57,459	—
その他	24,626	83,776
固定負債合計	216,351	220,398
負債合計	927,392	1,000,261

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,047,923	1,962,470
自己株式	△290,211	△290,211
株主資本合計	6,699,159	6,613,706
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,493	2,401
評価・換算差額等合計	△3,493	2,401
純資産合計	6,695,666	6,616,108
負債純資産合計	7,623,059	7,616,369

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	689,638	595,168
売上原価	376,956	334,067
売上総利益	312,682	261,101
返品調整引当金戻入額	19,311	19,523
返品調整引当金繰入額	9,843	9,129
差引売上総利益	322,150	271,495
販売費及び一般管理費	330,359	334,496
営業損失(△)	△8,208	△63,001
営業外収益		
受取利息	1,286	2,074
受取配当金	239	239
為替差益	1,507	—
その他	504	231
営業外収益合計	3,537	2,545
営業外費用		
支払利息	16	9
為替差損	—	654
その他	12	—
営業外費用合計	28	664
経常損失(△)	△4,699	△61,120
税引前四半期純損失(△)	△4,699	△61,120
法人税、住民税及び事業税	3,371	3,509
法人税等調整額	12,391	△21,475
法人税等合計	15,762	△17,965
四半期純損失(△)	△20,462	△43,154

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	259,703	427,034	686,737	2,900	—	689,638
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	259,703	427,034	686,737	2,900	—	689,638
セグメント利益又は損失(△)	44,286	20,645	64,932	2,343	△75,485	△8,208

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,485千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	188,502	404,044	592,547	2,621	—	595,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	188,502	404,044	592,547	2,621	—	595,168
セグメント利益又は損失(△)	△25	5,871	5,845	1,749	△70,596	△63,001

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△70,596千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。